

令和4年3月11日

学校教育情報化推進計画(骨子案)に係る意見について

つくば市 森田 充

【総論について】

第1部

○ P1、1.(1)

- ・ 超スマート社会……、不透明で（不透明というとは、何か暗い、不安を募らせる言葉に感じがする。）「誰もが予測できない」のほうがよいのではないか。最後から2行目納得解を生み出すことなどを「といった問題解決学習など」

○ P2 (2)一番下の文章

- ・ 「十分でもないにもかかわらず」が、わかりづらい。  
「十分説明されないままに」 or 「十分説明ができないまま」

○P3 (3)4つめの・

- ・ ボトルネック等が何を指すのかわからないか。例示があったほうがよいと思う。（アクセスポイントの設定、既存の古いサーバー…）

○P4 一番上の文章

- ・ 高一だけを記述しているが、高2・高3は、いいのか。できるだけ活用する機会を設けるといった記述は？
- ・ デジタル教科書と教材の連携は、デジタル教材を含めてか？また、デジタル教科書が、児童生徒の通学時のランドセルなど荷物の軽量化にもつながる。
- ・ 市町村によっては、端末の持ち帰りや、オンラインの授業について、公平性という言葉の下、上手くいってない所を基準にして、合わせようとしていると聞いたことがあり、残念に思った。できる所から、整った所から進めて、良い事例を共有化するという姿勢が必要だと感じている。
- ・ デジタル教科書も、働き方改革に大変有効である。

○P5 2(1) 2つの目の・

- ・ 「文房具」として自由な発想で、自由でいいのだが、必要に応じて、適切な活用を見出し、身に付けていくといったニュアンスが、ほしいように思う。

○ P7 (3)

- ・ 大型提示装置（電子黒板）は、もう整備され、記述する必要がないということでしょうか。大型提示装置は、一人一台での学びをいかす必須の機器であるにもかかわらず、まだ十分でないように感じるので、このことも記述してはいかがか。
- ・ 最後の・の文で、「学校経営、指導等の改善」が何を指すのか、分からないのではないか。具体例を入れた方がわかりやすい。指導等の改善というのも、「指導が必要な児童生徒の発見、生活・学習状況の把握による指導の充実や改善」ではいかがか。

【各論について】

○ P8 3 (1) つくばでは、21 世型スキルの評価基準を、発達段階に応じて明確にしている。先生方に、明確な目標意識を持たせる上で必要である。

○ P9 3 (3) 大型提示装置のサイズの目安も明示したほうがよい  
 普通教室 70 インチ程度  
 特別教室 80 インチ程度  
 特別支援教室 …

か、教室の広さと対比させて表すと

○P9 3 (4) 通常の評価と通知票・指導要録との連携が必須

第2部

○ P11 1 (1)

○情報モラル モラル教育はもちろん大事だが、学年に応じたフィルタリングとか、使える時間の自動設定とか、最低限の制限は必要ではないか。

○プログラミング教育 つくばでは、小1から計画的に行っている。また、教科等でのプログラミングを生かした授業が考えられたときは、先生方に紹介している。プログラミングは、特別に学ぶものという意識を、教科の学びの中でできるものという考え方に変えることが必要。

○障害のある児童生徒の活用は、学びの困難さを軽減するという考え方はもちろんあるが、それ以上に、その子の持つ才能を生かす、引き出す道具にもなりえるという考えが大切だと思う。「ICT が、その子の特別な武器になる」という方もいる。

○ P14

○教育データの利活用 先生方は、学習データを生かした経験が多くないように感じる。教育データを活用できる環境整備とともに、活用する利点を具体的に感じさせるような仕掛けが必要だと思っている。

活用ができる環境としては、物的な環境はもちろんだが、法的にあいまいなところが多いように感じる。感じているだけなのかもしれない。あいまいというのは、よく分かっていないだけなのか。法的にも自信を持って活用できるような整理ができていればと思う。

○ デジタル教材等の

デジタル教科書は、通信データ量を踏まえた内容の検討が必要である。あまり大きすぎれば、現場では使えない。